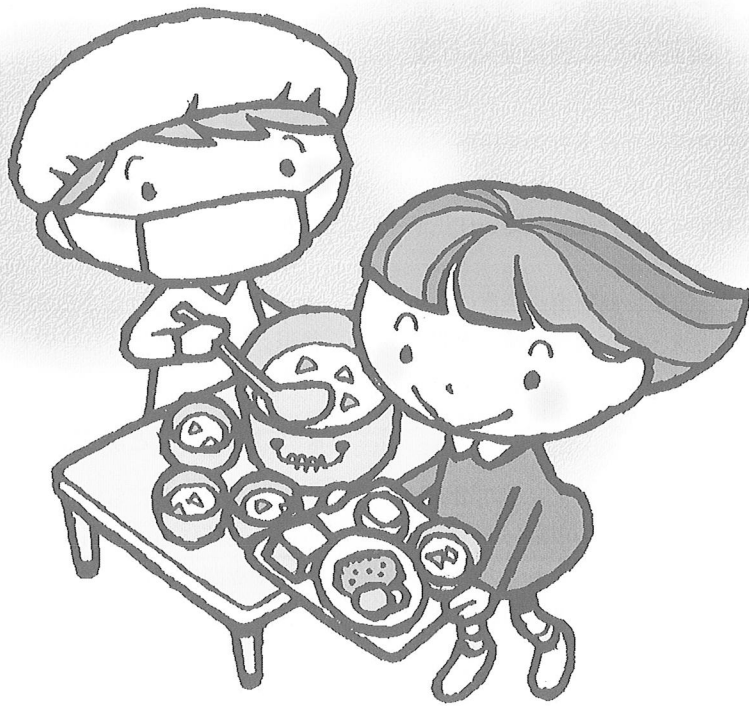


道 教 組

DOKYOSO NEWS vol.524



“ゆきとどいた教育めぎす市町村
村キャラバン”から

全道合研(11月)、夏の研究集会(7/8月)案内

専門部総会開催(青年部 事務職員部 女性部 養護教員部)

“ぼっち”じゃない……ひとり分会から……その①

わたしのとっておき

見えてきた子育て支援への努力とまちづくりの苦悩

“ゆきとどいた教育めざす市町村キャラバン”

5月から6月、道教組、高教組は、石狩、後志、空知、上川、胆振管内を精力的に回る教育キャラバンで、首長や教育長と対話を重ねてきました。地方の市町村の子育て支援への努力やまちづくりについての苦悩が異口同音に語られました。

過疎化に抗うこともできず、着々と進行する過疎化・超高齢化に苦悩する行政

北海道の市町村、特に町村部においては、少子化、超高齢化、若者流出、つぶれる商店街、企業の撤退、公的機関の切り捨て、JRなど交通網の縮小、医療機関の空白など行政としての住民サービスが難しくなっています。

地方の市町村にとって、商店街や企業の縮小、住民減による、所得税・住民税等の減少が明らかです。各市町村には「基金」と呼ばれる貯金があり、その貯金を切り崩しながら住民サービスや教育条件整備を行っています。

しかし、急速に進行する過疎化により市町村としての将来像が描けず、近隣の市町村と生き残りをかけて共同で公共施設を維持することなどの業務の分担が進行しています。上下水道、給食センター、病院……など。

コンビニが町の砦（？）

上砂川町のように、スーパーなどがなく、コンビニのみに頼る町も出ています。「今度ローソンが出店してくれるので」と教育長から歓迎の声が出ていました。まさしく、地方に行くほどコンビニが道民生活をカバーしている実態があるのです。

まちづくりの将来像を描くためには、過疎化をどう考えるか、どうすれば住みやすい町を維持できるのか、教育はまちづくりと一体を考えなければ

ならないのです。

東京に「ヒト・モノ・カネ」が一極集中 安倍政権が掲げる「地方創生」の破綻

地方衰退の原因は、輸入自由化などによる農林水産業つぶし、大店法廃止による商店街つぶし、「都市再生」の名による都市再開発・「東京一極集中」政策などによってつくられたともいわれています。

最低賃金は、時給で東京932円、北海道は786円で146円もの差があり、公務員の都市手当は東京が20%、北海道は札幌のみ3%という格差です。

小泉「改革」で地方交付税を削減し、「平成の大合併」へと追い立てたことも、住民サービスを後退させ、地域経済に打撃を与えました。

まちづくりと教育はどうあるべきか

地方の子どもたちは、小・中学校が終われば、近隣の高校に通い、高校卒業とともに、町を離れ大学や専門学校に進学、または都市部で仕事につきます。本来であれば、第一次産業の農林水産を継いでも安心して働ける見通しがあれば、後継者は増えるのではないのでしょうか。

政府が大企業優先ではなく、地方の中小企業支援や起業補助金を増やし、全国一律最賃制度を確立するなどして、「地方創生」を生きたものにすべきです。

教育では、地方こそ「ゆきとどいた教育」ができます。子どもや住民のためのスポーツ・文化施設充実も大事です。お金をしっかりかけた「子どもを大事にする国づくり・まちづくり」が政治と行政に求められています。

(道教組書記長：新保 裕)

全道合研(11月3・4日)にむけ、4～7月の教育実践を整理してみませんか

今年の全道合研(合同教育研究全道集会)は、11月3日(金)・4日(土)、札幌市教育文化会館を中心におこなわれます。

記念講演は、フリージャーナリストの斉藤貴男さんの予定です。

分科会では、「道徳教育(仮称)」分科会が新設されます。他の分科会にも参加できるように2日目だけの開催予定です。また、「教育課程」と「学校づくり」は一つの分科会にまとめられます。

全道合研は、所属組合・加入の有無など全く関係なく、非難されたり、聞き流されることのない、誰でもが発表し討論し交流し学びあえる場です。

声かけあって、レポートづくりの準備を

大変忙しい中、9月・10月になってからのレポートづくりはなかなか大変です。春から夏にかけ

ての教育活動を振り返り、教職員の働きかけや、子どもが変わってきた姿、支えている保護者の声などをまとめてみませんか。苦勞したり失敗したことの中にも次への宝が埋まっているのではないでしょうか。

記念講演の講師は、斉藤貴男さん

週刊文春等を経てフリー。時事、社会、経済、教育問題等に関して、格差社会や新自由主義、情報統制を鋭く追及。「マスコミ九条の会」呼びかけ人。1998年版学習指導要領作成にあたった教育課程審議会会長の三浦朱門氏にインタビューし「できん者はできんままに結構」と本音を語らせ、「機会不平等」(文藝春秋2000年)に著しました。

民間教育研究団体・夏の研究集会案内

第64回北海道作文教育研究才ホーツク・北見大会

【開催日】7月27日(木)～28日(金)

【開催地】北見市立南小学校

【主内容】講演、公開授業(小4)

5つの分科会、4つの講座

【教職員参加費】4,000円 再任用:2,000円

【問合せ先】平川さん TEL0125-23-2219

～十勝まるごと授業づくり!～

【開催日】8月9日(水)～10日(木)

【開催地】池田町、本別町(9日)、足寄町(10日)

【主内容】フィールドワーク(日本近代史、十勝の畑・農業)⇒授業づくり⇒授業発表会

【教職員参加費】3,500円 年金者:1,500円

【案内web】<https://sites.google.com/site/dorekkyo/home>

【問合せ先】mail:dorekkyo.jimukyoku@gmail.com

第52回自然科学教育研究全道大会

【開催日】7月28日(金)～30日(日)

【開催地】札幌清田高校

【主内容】講演、レポート討議、

フィールドワーク(北大博物館など)

【教職員参加費】3,500円

【問合せ先】河端さん TEL011-313-1671

mail:kwbtryo@nifty.com

数学教育協議会

第57回全道数学教育研究大会

【開催日】7月27日(木)～28日(金)

【開催地】白樺学園高等学校(芽室町)

【主内容】「わくわく講座&実践報告」、講演、小中高別分科会、教具づくりコーナー

【教職員参加費】4,000円

【案内web】<http://www.ami-do.jp/>

【問合せ先】三輪さん jimu@ami-do.jp

全道保健サークル研究大会のぼりべつ集会

【開催日】8月8日(火)～9日(水)

【開催地】登別市 登別グランドホテル

【主内容】講演、講座、サークルの広場、分科会

【教職員参加費】4,000円

【案内web】<http://zenyousa.web.fc2.com/>

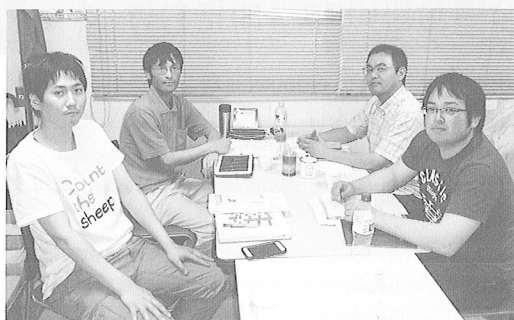
【問合せ先】中安さん noboribetu2017circle@yahoo.co.jp

青年部総会

道教組青年部総会を5月27日に開催しました。まず、今年度の体制として、副部長を4名に拡大し、事務局的な立ち位置で部長を支えていく体制にしました。

青年部独自の企画として、今年度も「オトナの宿泊学習」を行うことが決まりました。今回は、余市のニッカウキスキー醸造所見学をメインに、小樽・余市方面を満喫する旅を企画しました。多忙化が進む中、広い北海道でつながることは簡単ではありませんが、全道の仲間と交流を深め、新たなつながりを広げていく企画になるよう、準備と宣伝を進めいきます。

新たな取組みとして、全教青年部が主催する集会（TANE in 福島、北海道・東北ブロック集会 in 青森）などに人数の目標を決めて参加を呼びかけることを決めました。道外の仲間と交流できる貴重な機会を保障できるよう、積極的に声をか



けていこうと考えています。

また、ここ数年模索している高教組青年部との連携について、年数回の集会や企画で顔を合わせるだけの現状から、つながりを増やし励ましあっていく関係にしていくことをめざします。

青年部役員紹介

- 部 長…富樫耀（檜山）
- 副 部 長…山本仁史（網走）、遠藤玄（宗谷）
能代岳（後志）、太田和真（上川）

事務職員部総会

2016年度の活動報告及び2017年度の活動計画を交流しました。来年度行われる全国学校事務研究会札幌集会についての話し合いを重点に協議しました。会場をホテルライフオートに決定し、今後のスケジュールや役割分担などについて交流しました。講演者については東京集会の様子も確かめ、秋の常任委員会で継続協議としました。新保書記長も加わり、専門主任などの新しい職種、給料表などについて話し合いました。来春4月から配置予定のため、情報の周知を大事にしていくことが必要です。専門部で集まると、1人職種なので、顔を合わせて話すことにより不安も解消できたり、気がつかない事を確かめられたりでき、本当に力をもらえるなと思います。

2年連続で全国学校事務研究会にレポートを発表したこと、今後も若い世代が研究を行いながら、学校事務職員として何が出来るかを交流でき



る場を確保していくこと、組合加入の呼びかけ・組織づくりなどを共に考えていくことが必要です。

9月に常任委員会を開き、事務職員としての権利の問題や2018年度の札幌集会についての話し合いを予定しています。

今年度も全道や全国の状況を事務職員の皆さんに伝え、力を合わせて進んでいきたいです。

事務職員部役員紹介

- 部 長…永島敦史（宗谷）
- 副 部 長…西山正一（釧路）
土居隆弘（胆振）

女性部総会

5月20日（土）、札幌市北区民センターにて今年度の女性部総会が開かれました。

五つの単組より参加があり、昨年度の取り組みと今年度の活動方針や活動計画について活発な話し合いが行われました。

女性部のアンケートからは、多忙の要因として「学級事務や報告・提出物の作成」があげられ、「生徒指導と事例に伴っての保護者対応」に時間が割かれている傾向が明らかになりました。

また、セクハラ、パワハラにもつながりかねない様な職場の人間関係に悩む声があり、決して孤立することのないように連携をとっていきたくと思っています。介護に関わる休



暇・休業が整理されてきています。事務職員の先生や管理職に確認してみましょう。わからないことがありましたら、道教組本部まで問い合わせください。

2017年度方針の基本

- ①全道の組合員の結びつきを深め、女性教職員の生活と権利を守り、健康で生きいき働き続けるための要求実現に取り組む
- ②憲法改悪を阻止し、平和と民主主義を守るための各種活動に積極的に参加し、行動する
- ③全道・全国の多くの女性労働者と連帯し、女性の地位向上のための運動に取り組む。

女性部役員紹介

- 部長…山本佳奈子（宗谷）
- 副部長…山口政世（釧路）
- 常任委員…吉田圭子（札幌）、高橋清子（胆振）
市来成子（檜山）

養護教員部総会

5月20日、6単組2連絡会から10人の参加で総会が行われました。

保健室は、子どもや学校の実態や課題がよく見えるところです。昨年度の総括や新年度方針に関わり、次のようなことが話題になりました。

○増えている「食物アレルギー」について

学校によって違う対応措置の交流や、貧困問題とも関わって検査および学校提出文書にかかる保護者の費用負担について。

○全国平均に比して時間が長いとされる北海道の子どものメディア視聴やSNSについて

視力低下や睡眠不足など、様々な健康・生活課題。いじめやトラブルを生まないための、ネットコミュニケーション及びモラル形成への課題

○増える小学校低学年の暴力行為の実態について

貧困・両親不和・子どもへの関わり不足など家

庭の問題、言葉の獲得やコミュニケーション力の育ちそびれや発達障害、学校



や家庭（宿題）での学習の負担など実態の交流

○全道で養教の退職と新採用による入れ替わりが100人規模。その中での4・5月の初任研のあり方や組織拡大について

今年も保健室からこれらのことを発信しながら、先生たちや保護者とともに、子どもたちの笑顔輝く学校づくりに力を尽くしたいと思います。

養護教員部役員紹介

- 部長…國保いずみ（日高）
- 常任委員…坂本紀子（宗谷）、間山純子（後志）
中村文恵（上川）

障害児教育部総会

7単組、2連絡会9名の参加で話し合いました。

1つ目は、1月の「全国障害児学級・学校学習交流集会 in 北海道」の振り返りです。高教組と共に600名（道教組からは87名）を超える参加者を得て、高教組との連携や、各地に散らばる組合員同士のつながりの大切さを再確認しました。2つ目は、高教組障教部と合同で行っている専門部交渉の成果です。ここ数年来の課題となっていた認可学級と運営上の学習グループの問題では「認可学級を設けた上で実態に応じた学習グループを編成して指導にあたることは可能である。もし教職員課等がそれらを混同した場合は教育局の指導主事に伝えてほしい」と回答を得ることができました。3つめは、今後のとりくみです。今年の道教委交渉に向けて、各地の教職員、教育環境、特別支援教育支援等の状況を調査します。また、「障害児学校の設置基準策定を求める署名」「特別支



援学級の学級編制基準の改善を求める署名」を行います。後者は、現在8名の学級編制基準を6名にするよう求めるものです。今年前半の取り組みとして頑張りましょう。

現況の交流では、課題の共有までで、まだまだ話したりない感を残したまま閉会になってしまいました。障教部メーリングリストの活用など工夫しながら、つながりを大事に取り組んでいきます。

障害児教育部役員紹介

- 部長…田中豊一(釧路)
- 副部長…中川雅人(日高)
- 常任委員…竹内哲也(胆振)、島初和(石狩・札幌)

「教え子を再び戦場に送らない」

—全北海道退職教職員の会が第26回総会開く—

第26回道退教（全北海道退職教職員の会）総会が5月21日に開催されました。全道13支部から約40名の代議員が集まりました。

「ゆきとどいた教育を求める全国署名」「脱原発、被災者支援」「年金／医療／介護制度充実」「教え子を再び戦場へ送るな」などのとりくみや会員相互のつながりを深めていくとりくみなどが提案され話し合われました。



互いのつながりを深めていくとりくみなどが提案され話し合われました。

討議（交流）では、

「大間原発反対を市民ぐるみでとりくんでいる」（渡島函館）「山口二郎氏の講演会を民進・共産・連合などとともにおすすめしている」（宗谷）「カジノ誘致に反対する運動の中核を会員が担っている」（胆振室蘭）「教職員9条の会で対馬丸で遭難・漂流した人の語る会を開く」（十勝帯広）「いまの政治に危機感を持っている人が増え、総会参加者が増えてきた。『今が退職教職員の出番』という気持ちだ」（網走）「路上スタンディングをやっている。寒さに負けず」（根室）「定年退職後の道が多様で、入会呼びかけが難しい」（渡島函館）「会長任せでやってきた。これからは荷を分かちつとりくみたい」（釧路）などが話されました。

最後に「共謀罪に反対する特別決議」などを全会一致で採択しました。

“ぼっち”じゃない！……ひとり分会から…… その①

枝幸町立乙忠部小学校分会

木野下 珠紀（養護教諭）

乙忠部小学校はオホーツク海に面した、児童数11名の小さな海辺の学校です。私は本校に勤務して7年目の養護教諭です。保護者の多くは漁家と酪農家です。子どもたちは素直な子が多く、学習やさまざまな行事に一生懸命取り組むことができます。

職員室では、

「Aさん、先生（担任）と一緒に朝学習を始めてから気持ちが安定してきたようだね」

「表情も前よりよくなったよね」

「Bさん、今週、なんか落ち着かない感じだったね」

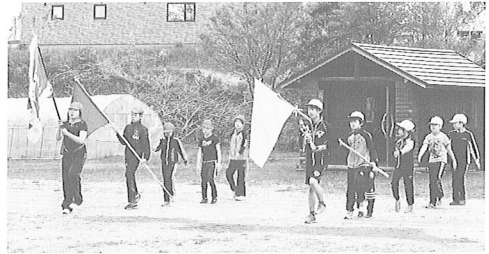
「どうしたらいいかな？」

など、子どもたちの話がとびかっています。一人ひとりの子どもを大切にしようと、気軽に子どもたちの様子を交流・相談しています。

校長先生は、小規模校の長所と短所を把握した上で、地域とともに、子どもたちの力を伸ばそうと先頭に立ってくださる実行力のある方です。分会長として懇談する機会も多いのですが、子どもたち



みんな、思えば「子どもたちをしっかり支え伸ばした」



や教職員、保護者、地域、組合のことなどざくばらんに話したり相談することができます。おかげで、一人分会ですが、孤立感を感じることなく、毎日楽しく仕事ができています。

宗谷には、組合が違って未組織でも「自分の学校の子どもたちをしっかり支え伸ばしたい」という思いで全教職員がひとつになれる学校が多いと思います。これは宗谷教組が大事にしている「学校づくり」の考え方がしっかりと引き継がれてきているからだと思います。この春、新しく異動してきた4人の先生方へ引き継いでいきたいと考えています。

養護教諭になってからずっと宗谷教組にお世話になっています。臨採の経験もなく養護教諭として何をすればいいのかも全く分らなかった私は、養護教員部の仲間や先輩方から教えていただきました。私はなかなか分会員を増やすことができていないのですが、養護教諭を続けてこられたのは仲間の支えがあってこそだと思います。宗谷はいいですよ！

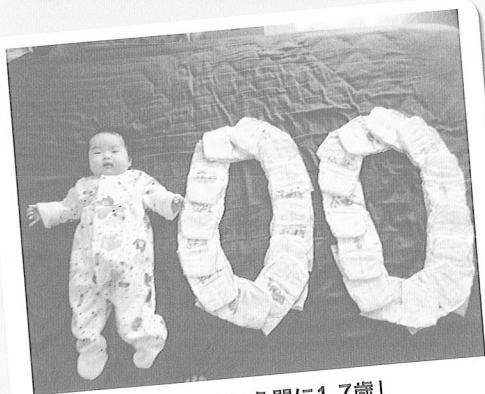
編集後記

腰を痛めました／1日1万歩を目標に歩いて通勤。5月は、32万歩。目標完遂です。

共謀罪がルール違反の強行可決の日、退職教職員会の人と一緒にデモに参加。早く帰れるよう前の方に入りました。後続の皆さんを横目で見ながらの帰路、現役の方々に呼び止められ、デモの隊列に戻されました／家に着いたら、左腰が悲鳴。靴下が脱げません。この腰の痛み、安倍さんにつけたい。腰をさすりつつ、みなさんと一緒に次の一手を考えます。（柳憲一）

わたしのとっておき

“とっておき”の写真・絵・短歌・川柳など紙面で紹介できる作品募集。頁下メールアドレスへご連絡を。



「100日記念、あっという間に1.7歳」

100日を迎えてオムツでデザインして記念撮影した娘も、あっという間に1歳7か月。毎日に成長する娘を見ながら、親として希望を持って子育てしている。教室のどの子も、大切に育ててもらって今の姿があるのだ。一人ひとりの子どもたちを大切にできる教師でありたいと願っている。

【川上 創(北広島市・双葉小学校)】



「癒しのねこ」

我が家の長男ジロー(右:5才)と次男チャップリン(左:2才)です。とっても仲良しの2匹は、寝姿もシンクロ(笑)。ジローは、朝ごはんの時間になるとしっかり起こしてくれます。休日は、二匹と家でのんびりするのが何よりの癒し♪♪

【堂七 歩(札幌市・厚別北小学校)】

全教自動車保険

「見積依頼」でハーゲンダッツをプレゼント!



小納谷部長
(川上企画)



夜間走行はハイビーム(遠目のライト)が基本です。ロービームでは50m先がよく見えません。こまめにハイビームとロービームを切り替えて、歩行者・自転車の早期発見を。

提携 東京海上日動火災保険株式会社

全教自動車保険加入にあたっての5つの特長

- ①無事故割引を他の保険会社や一部の共済から引き継げます
- ②保険料は給料引去または口座振替
- ③ご家族の車でも、何台でも加入OK
- ④退職者もメリット引き継ぎで安心
- ⑤申し込んだその日から安心

手続き

カンタン

有限会社 **川上企画** (道教組指定代理店)

札幌市中央区南大通西12丁目4-78 ウエスト12 1階
フリーダイヤル 0120-222-789 FAX 011-218-2472

道教組

2017年7月1日発行

発行 全北海道教職員組合 発行者 川村安浩 〒060-0909札幌市東区北9条東1丁目 北海道労働センター3階

TEL(011)742-0101 FAX(011)742-1001 メールアドレス dokyoso@scagreen.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.dokyoso.net>